

## H30 水稻作況情報

### ○耕種概要

- ・場所 和歌山県農業試験場内圃場（和歌山県紀の川市貴志川町高尾 160）
- ・供試品種 キヌヒカリ・きぬむすめ・ヒノヒカリ
- ・播種期 5月20日
- ・移植期 6月10日
- ・移植方法 機械移植 3本植
- ・栽植密度 20.8株/m<sup>2</sup>(16cm×30cm)
- ・施肥 (N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O kg/10a)

基肥 4.8-7.2-5.6 追肥①（幼穂形成期頃） 2.4-0-3.0 追肥②（追肥①の10日後頃） 2.4-0-3.0

### ○気象

- ・生育期間

10月上旬を除き、9月上旬から10月にかけて平年並か平年よりも低温で推移し、日照時間が少なかった。

### ○生育概況

- ・成熟期は、「キヌヒカリ」で平年並み、「きぬむすめ」、「ヒノヒカリ」で平年より1日遅かった。
- ・収量は、「キヌヒカリ」で平年よりやや少なく、「きぬむすめ」、「ヒノヒカリ」で平年より少なかった。穂数は、「ヒノヒカリ」では平年よりやや多く、「キヌヒカリ」、「きぬむすめ」は平年並みであった。一穂粒数は、「キヌヒカリ」で平年より多かったが、「ヒノヒカリ」はやや少なかった。玄米千粒重は、いずれの品種も平年よりも軽く、登熟歩合は、いずれの品種も平年よりも低かった。
- ・いずれの品種も整粒率が低かった。

項目		キヌヒカリ	きぬむすめ	ヒノヒカリ
最高分けつ期 (月/日)	本年値	7月25日	7月20日	7月25日
	平年比(日)	+12	+6	+10
出穂期 (月/日)	本年値	8月6日	8月17日	8月21日
	平年比(日)	-1	-1	-1
成熟期 (月/日)	本年値	9月12日	9月24日	10月5日
	平年比(日)	0	+1	+1
面積あたり穂数 (本/m <sup>2</sup> )	本年値	341.5	337.0	343.2
	平年比(%)	100	101	104
一穂粒数 (粒/穂)	本年値	100.6	95.5	84.8
	平年比(%)	118	100	95
玄米千粒重 (g)	本年値	22.3	22.1	22.7
	平年比(%)	95	95	98
登熟歩合 (%)	本年値	73.8	80.7	83.7
	平年比(%)	87	92	96
精玄米重 (kg/10a)	本年値	564	574	554
	平年比(%)	97	89	93

注) 平年比は、過去7年間のデータのうち、最小値と最大値を除いて平均した数値との比較

「きぬむすめ」は過去の調査期間が7年に満たないため、平年比を記載していない

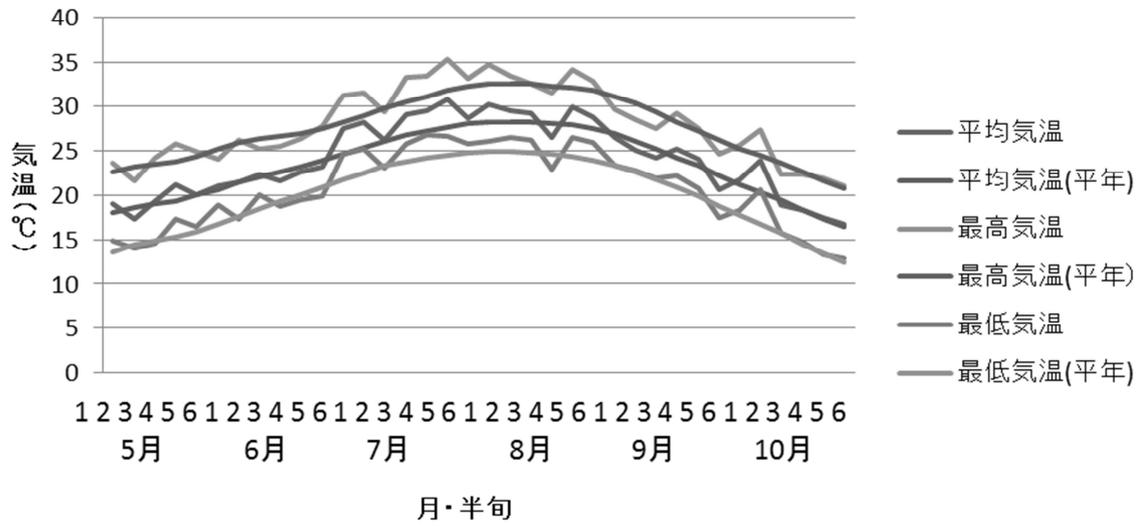
出穂期、成熟期の数値の-（マイナス）は「早い」を、+（プラス）は「遅い」を示す

千粒重、精玄米収量は、玄米水分15%換算値

項目		キヌヒカリ	きぬむすめ	ヒノヒカリ
整粒(%)	本年値	52.7	61.8	65.6
未熟粒(%)	本年値	44.2	35.4	31.2
被害粒(%)	本年値	1.2	1.1	2.2
死米(%)	本年値	1.8	1.6	0.7
着色粒(%)	本年値	0.2	0.1	0.3

注) 数値は穀粒判別器（静岡製機ES-1000）で測定したもの

## 半旬別気温の推移(2018)



## 半旬別降水量・日照時間の推移(2018)

